

緊急プロジェクト 安全な出産と子育てのために

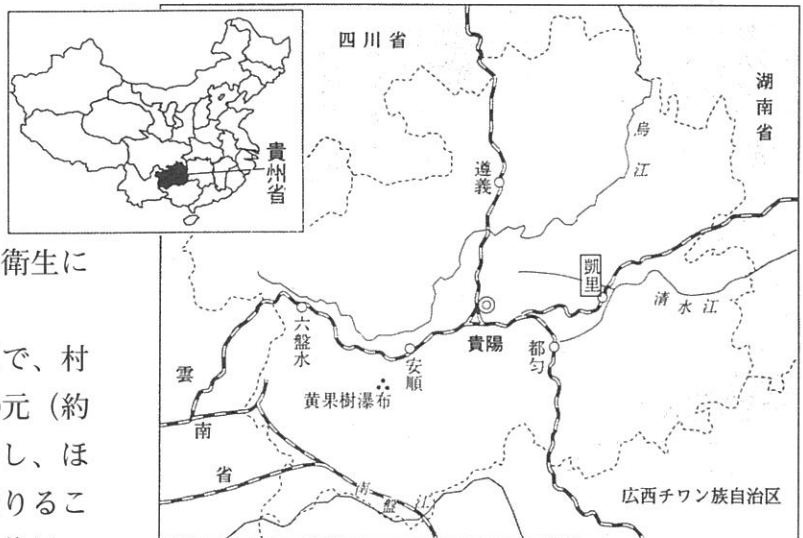
中国・貴州省凱里市三棵樹鎮に母子保健センターを!!

—産科医療設備・助産士養成を支援—

●募金目標額/期間：750万円/2002年10月から2003年6月まで ●プロジェクト完成予定時期：2003年10月

貴州省は、天然資源に恵まれながら、経済開発の立ち遅れのため、中国でももっとも貧しい省の一つに数えられていますが、いま、国家の西部開発に後押しされながら、近代化に努力している地域です。しかし、現状では女性や乳幼児の保健衛生にまで資金が行届きません。

凱里市は、貴州省の中でも財政難が深刻で、村の1級助産士でも毎年受け取る手当ては100元（約750円）に満たないということです。しかし、ほとんどの母親たちは、その助産士の手を借りることもできず自宅で出産しています。また、住民の絶対多数がミャオ族・イ族などの少数民族で、農民ですが、保健意識が低く、衛生的で安全な出産



方法を知りません。最近の妊婦の死亡例についても、入院分娩あるいは助産士の指導を受けることができたら命を失うことはなかったと報告されていますし、年間40件を数える乳幼児の死亡もかなり食い止めることができたいでしょう。

こうした状況の中で、「出産をめぐる母子の命を守る活動（生命工程）」を推進している上海宋慶齡基金会・中国福利会を通して、凱里市三棵樹鎮人民政府が、私たちに、当地での母子保健センター建設の急務を訴え、支援を求めてきています。

支援の内容は、すでに建築を終えた衛生院（次頁写真）の中に、母子保健センターを設置することです。すなわち、産科医療設備を整えて、助産



三棵樹鎮内の自然村落

士を養成し、配置することです。

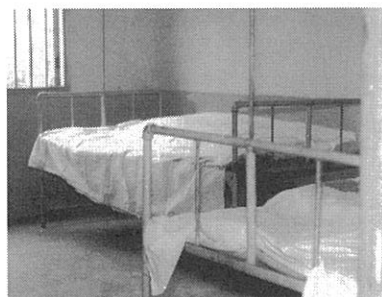
いま、私たちに、三棵樹鎮における母子保健センター建設の支援ができるなら、この村の女性の保健衛生に対する意識と子どもたちの健全な成長を促すことができるでしょう。さらに、農村の労働力の保護に役立ち、村民社会とその経済・文化の発展を応援することになります。

必要なときに必要な援助の手を差し伸べてこそ、真の友好交流を生むものと信じます。

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



衛生院全貌



病室内

三棵樹鎮内の自然村落数	145
総人口	53,159人
少数民族の比率	97%
総面積	263平方km
女性・児童の比率	66%
1995年—2000年の 新生児死亡	196人
1999年—2001年の 入院分娩	110人
入院分娩率	5.98%
自宅出産	1728人
同上中、無介助出産	605人

貴州省凱里市三棵樹鎮人民政府の実情報告より

中国宋慶齡基金会との会議〔9月3日〕

中国宋慶齡基金会にて、俞貴麟副主席・呉存瑜連絡部部長・李希奎基金部副部長らと会談。俞副主席は、JCCのこれまでの活動に感謝の意を表し、今後共同プロジェクトの発展と成功にさらに協力し合っていきたいと述べられました。因みに当会プロジェクト担当は基金部の杜愛平さんです。

河北省易県視察〔9月5日〕

新保敦子さん・杜さんとともに河北省を訪ねました。

まず、JCCが遊具を寄贈した流井郷中心幼稚園を訪問。史園長(女性)、保育士のみなさん、遊具で楽しむ元気な子供たちが待っていてくれました。通常の保育状況を視察することができました。次に支援校ではありませんが、県城から100km以上離れた二つの学校を視察しました。この地には、日中戦争中の日本軍の惨殺事件を歴史に留める碑が残されていました。最後に、JCCが図書を寄贈した高村郷黄水小学校を訪問。校長先生の案内で、図書コーナー、授業風景を視察しました。寄贈図書は、とても大切に利用されていました。本年も易県内の5校に図書セットの寄贈が決定しています。

● 図書コーナーを寄贈予定の小学校

流井郷豹泉小学校 尉都郷東庄小学校
橋家河郷橋河小学校 管頭鎮八一小学校
高陌郷東貫城小学校

また、昨年からはまった易県における3種の奨学金(小学生、女子中学生・職業技術学校生)の受給者名簿と成績表を預かって来ました。

内蒙古自治区通遼市視察

JCCは、本年度より、通遼市の庫倫旗と科左后旗両地区の小学生150人に対して年額一人1,300円の奨学金を給付します。このプロジェクトは在日モンゴル人留学生の企画と努力に賛同して始まったものです。今回9月9日にこの地区の2校を訪問しました。現地では、盛大な歓迎式典を開いて下さり、日本の皆様からの真心の支援をお伝えすることができました。

川崎 高志

寧夏南部山地小学校女性教員 夏期研修会に参加して

今年の夏、8月1日から11日にかけて、寧夏回族自治区の省都である銀川で、宋慶齡日本基金会の主催によって寧夏南部山地小学校女性教員夏期研修が開かれた。宋慶齡日本基金会では、1993年より寧夏回族自治区の児童、特に女兒に対する教育支援の活動を行ってきた。その中で特に重点的に進めたのが、回族女性教員の養成のプロジェクトであった。その結果、123名の女性教師を育成し、現在、彼女たちは僻地の教員として、頑張っている。こうした彼女たちに研修の機会を提供することが、今回の趣旨であった。



研修の内容としては、単に詰め込み式の教育を行うのではなく、児童の主体性を尊重した教育を行う必要性が講演の中で説かれたり、また研究授業が行われたり、とても充実していた。「目から鱗が落ちた」と皆が口々に言ってくれるほどであったことは、主催者側として、大きな喜びであった。また師範学校時代から彼女たちの成長を見守ってきた筆者としては、彼女たちが一人前の教師として、活躍している姿を見て、誇らしく感じた。

新保 敦子

第4次訪中団

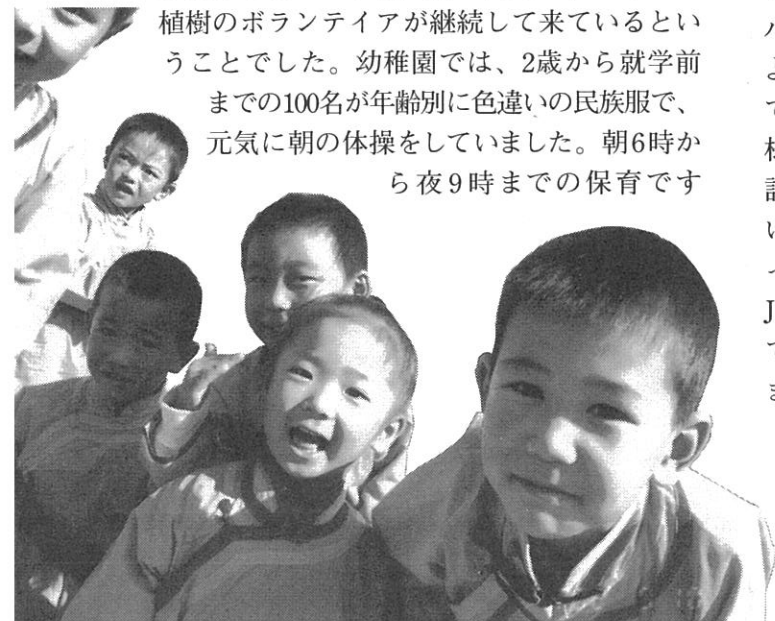
内モンゴル訪問記 9/6—9/12

私ども代表団9名は、東京学芸大学大学院に、ともに学ぶ小軍・ナラさん夫妻のご案内で、無事に、奨学金（3年間、延べ450人に給付）の目録を、通遼市教育局長梁金祥氏にお渡ししてまいりました。二つの小学校とナラさんのお姉さんが勤務している幼稚園を見学させていただきました。科左后旗小学校では、この村への外国人の訪問が初めてということで、村を挙げての大歓迎でした。庫倫旗蒙族小学校では、校門前の住宅に、日本から植樹のボランティアが継続して来ているということでした。幼稚園では、2歳から就学前までの100名が年齢別に色違いの民族服で、元気に朝の体操をしていました。朝6時から夜9時までの保育です



が、経営は大分厳しい様子でした。通遼市の市長さんが歓迎夕食会を用意して下さいましたが、移動に時間がかかり、6時到着予定が8時になり、皆さんをお待たせすることになりました。それでも、バスから降りると、モデル校の生徒およそ100名による大ブラスバンドに迎えられ、団員一同大感激でした。市長さん、教育長さん、校長先生方、皆様が、私たちの訪問に対して、「こんな遠方まで訪ねてくださるだけでもうれしいのに、恵まれない子どもたちへの教育支援のために訪問して下さいたことは、大変有難く心から感謝の意を表します。JCCの皆様はこの気持ちをお伝え下さい。」とのことでした。このあと、草原を1,000km走り帰途につきました。北京では、中国宋慶齡基金会を表敬訪問、俞貴麟副主席らと懇談しましたが、ここでも副主席が支援の継続に対して謝意を表されました。

須藤 れい



3月6日～3月20日 新保さん、寧夏教育支援現地調査
3月 8日 中国大使館の国際婦人デー行事に参加
3月10日 日中交流中国料理講習会主催 (30余名)
3月21日 三浦さん・井岡さん、中国宋慶齡基金会を訪問、交流
3月23日 第31回事務局会議
3月26日～3月29日 330-A地区ライオンズクラブ、寧夏教育支援現地訪問
5月31日 <心をつなごう このまちで>に参加
4月11日 新保さん、東京代々木ライオンズクラブで寧夏視察報告
4月17日 NPO法人申請準備相談 (都庁)
4月20日 第32回事務局会議
5月11日 チャリティー・コンサート“大草原モンゴルの音楽—馬頭琴のひびき”を主催：青年アーティスト11名による演奏、歌唱、舞踊
5月23日 NPO法人申請準備相談 (都庁)
5月29日 中国宋慶齡基金会成立20周年記念行事に参加
6月 1日 第33回事務局会議
6月19日 吉林省永吉県第7中学奨学金・内モンゴル自治区小学生奨学金協定書発送
6月30日 「モンゴル民族文化基金」設立記念大会に参加
7月 6日 第34回事務局会議
7月21日 特定非営利活動法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会 (NPO法人JCC) 設立総会及び懇親会
8月 1日 東京都庁にNPO法人設立の申請
8月1日～8月10日 旧宋慶齡日本基金会寧夏女教師研

修プロジェクト実施
8月21日 2002年度JCC奨学金105万円送金：吉林省永吉県小中学生、河北省易県小学生・女子中学生・職業技術学校生、内モンゴル自治区遼寧市小学生に給付
8月22、23日 日中国交正常化30周年記念中国演劇<偶人記>鑑賞
8月31日 第35回事務局会議
9月 5日 川崎さん・新保さん、河北省易県教育支援現地視察
9月 6日 第4次訪中団出発 (須藤団長・阿部顧問・諏訪・西村・丸山・吉村)、北京で川崎秘書長合流/夜、夜行列車にて内モンゴル自治区赤峰に出発
9月 7日 代表団、赤峰にて小軍・ナラ夫妻と合流、蒙古高原へ
9月 8、9日 遼寧市の小学校を訪問、奨学金目録贈呈、幼稚園訪問
9月11日 代表団、中国宋慶齡基金会と交流/12日帰国
9月12日 日中国交正常化30周年祝賀会に参加
9月18日 劉特有著『時は流れて一日中関係秘史五十年』出版記念会に参加
9月21日 第36回事務局会議
9月25日 中華人民共和国国慶節・日中国交正常化30周年祝賀会に参加
10月10日 “為了明天” 第5号発行

● 予告

10月19日 第37回事務局会議
11月 2日 第1回 JCC中国講座 (中国の少数民族と国家)
講師：村田雄二郎さん

大成功 チャリテイモンゴル音楽会

大草原に響く躍動的な馬頭琴。華麗な民族舞踊と美しい歌声。会場を爆笑と拍手で沸かしたモンゴル相撲ダンスなど満場の参加者を魅了しました。

売上収益金とカンパ 321,082円は 9月、内モンゴルの子どもたちに届けました。

皆様のご協力、本当にありがとうございました。

5月11日
八王子市学園都市センターにて



JCC中国講座

第1回「中国の少数民族と国家」

講師：村田雄二郎さん

東京大学大学院総合文化研究科助教授

日時：11月2日(土) 午後2時

場所：八王子市クリエイティブホール

参加費：一般 1,000円 学生 500円

第2回「子どもたちの未来のためにできること—中国の少数民族地域に対する教育支援を通じて—」

講師：新保敦子さん

早稲田大学教育学部教授

日時：2003年2月

編集後記

今年は格別に暑い夏でしたが、皆様お健やかにお過ごしでしょうか。虫が鳴き、金木犀が香り、ようやく秋らしくなりました。さて、遅くなりましたが、『為了明天—明日のために』の第5号をお届け致します。この秋は「日中国交正常化30周年」の、多彩な記念行事があり、当会からも、それぞれに参加。歴史の流れの中に生きている、と実感しました。新しいプロジェクトも始まります。よろしくご支援をお願い申し上げます。……三浦克子

「為了明天」No.5

題字：周肖

2002年10月10日発行

編集：三浦・井上

発行者：宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会

〒192-0081 東京都八王子市横山町20-8

TEL/FAX0426-46-4210

郵便振替：00170-2-152423

UFJ銀行八王子支店 (普通) 5182198